

平成29年度 上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,836,000円		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める。		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

●利用状況

		H29 上半期	H28 下半期※	H28 上半期	H27 下半期※	H27 上半期
貸付農地利用区画数		153	183	179	195	193
利用状況	一般用区画A(30㎡) 利用率	67.9%	76.3%	75.6%	87.0%	84.7%
	一般用区画B(40㎡) 利用率	45.3%	56.3%	51.6%	54.7%	56.3%
	一般用区画C(50㎡) 利用率	37.7%	55.7%	55.7%	54.1%	54.1%
	身体障害者用区画E(2㎡) 利用率	80.0%	86.7%	86.7%	86.7%	87%
	収穫体験利用組数(組)	550	1,300	521	1,289	475
	収穫体験利用人数(人)	1,353	4,245	1,495	3,719	1,345

※は通年の実績となります

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導 ⑥耕耘機の無料貸出し	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退社の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③JAのHPに掲載 ※掲載ページへのリンクをトップ画面下の場所に分かりやすく設定 ④随時除草作業実施 ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施 ⑥上半期(4月～9月):113件
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕起作業	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 上半期(4月～9月):1件の依頼を受け実施
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③委託業者による点検(年1回) ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画にすき込み、土づくりに活用(チップパーにより残渣を粉砕) ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認
施設修繕	指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	農業器具等の修繕を自己の営農組織に依頼することで、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備している。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫体験年間体験コース会員100組を対象に実施。 ・アンケート質問項目:「何を見て申し込んだか」、「来園人数」、「体験時の係員の指導について」、「作物の出来具合について」、「収穫作物の種類について」、「収穫体験以外のイベントの実施について」、「ご意見、感想」
利用者アンケートの実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・回収総数 70枚 (回収率 70.0%) ・「何を見て申し込んだか」 広報ぎふ:71.5% 岐阜市咲楽:2.9% JAぎふ広報誌:1.4% チラシ:1.4% 岐阜市のHP:1.4% JAぎふのHP:0.0% 家族、友人、知人からの紹介:15.7% その他:5.7% ・「来園人数」 1人:1.4%、2人:34.3%、3人:18.6%、4人:30.0%、5人:11.4%、6人:4.3%、7人以上:0.0% ・「体験時の係員の指導について」 大変満足34.3%、満足64.3%、やや不満1.4%、大変不満0.0%、その他0.0% ・「作物の出来具合について」 大変満足32.9%、満足50.0%、やや不満12.9%、大変不満2.8%、その他1.4% ・「作物の種類について」 大変満足33.3%、満足65.2%、やや不満1.5%、大変不満0.0%、その他0.0% ・「料理教室等のイベントの実施について」 希望する59.4%、希望しない35.9%、その他4.7% ・主な意見・感想:子どもの食育の場になる。子どもが楽しんでいる。係員が親切で助かった。等
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>アンケートの意見・結果については指定管理者に伝え、指定管理者で改善できるものはお願いしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫体験実施期間や時間を延長して欲しい ⇒実施期間を「土曜日～翌土曜日」の8日間から、「土曜日～翌日曜日」の9日間に変更する また、開催期間案内はがきに、期間中に都合の合わない利用者は別日に個別対応する旨を記載する ・一輪車を増やして欲しい ⇒現状は12台。多くの利用者へ行き渡るよう注意する。 ・作物の保存方法やレシビなどが欲しい ⇒検討する。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を超えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	B	B	B
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価			A			

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト縮減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
	区分評価					A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
	その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-	
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元開催のイベントに協力しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>収穫体験で提供する作物のさらなる品質向上と予定時期に安定した収穫ができるように努めた。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>JAぎふ機関紙・JAぎふの支店や若年層や子供連れの方が多く訪れる、JAぎふ販売店において施設の紹介や募集記事等を掲載し、施設の魅力の周知や利用者の増加に努めた。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>上半期につづき若年層など新たな利用者の獲得に努めるために施設のPR方法を工夫していく。堆肥の無料配布、除草作業や有料耕起などのオプションサービスを周知していただくために掲示をする。</p>

●所管課の意見

- ・貸付区画利用率の減少に歯止めがかかっていない。広報等を活用した有効なPRに努めてほしい。
- ・前年同時期に比べ、収穫体験の利用組数が増加している。今年度より実施した小中学生を対象としたPRを継続する等、新たな利用者獲得に向け、広報を活用したPRに一層力を入れてほしい。
- ・アンケート結果より、多くの利用者が係員の指導に満足していることを評価したい。今後も引き続き丁寧な対応をお願いしたい。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・貸付区画の利用率向上に向けて、若年層・元利用者・定年後世代など、アプローチする相手にとって効果的なPR方法となるよう工夫して取り組んでいくと良い。
- ・他の市民農園が整備され競争相手が増えてきているため、差別化を図っていくと良い。